

みどりの基本計画

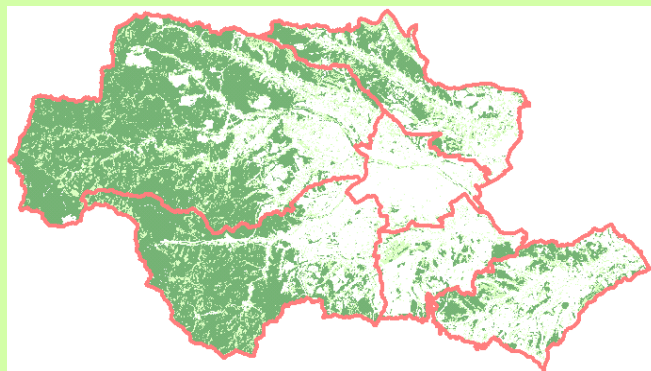
計画改定の趣旨

「みどりの基本計画」は平成10年に策定され、10年以上が経過しました。その間、みどりを取り巻く環境は大きく変化してきました。地球温暖化防止、生物多様性の保全など、みどりの持つ役割が期待されています。また、市民の意向もみどりに対する期待が大きくなってきています。

そこで、市民・事業者・市の協働のもと、「みどりの環境調和都市」をめざし、新しい「みどりの基本計画」を策定しました。

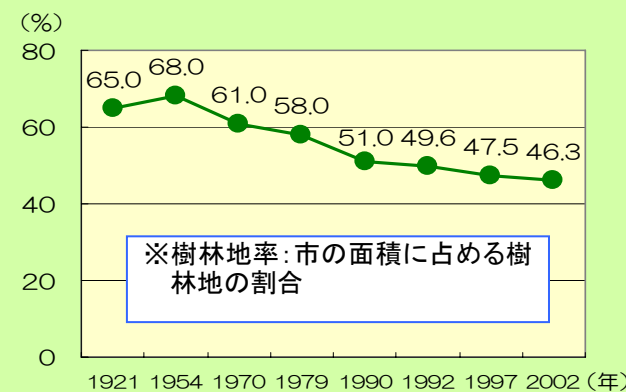
みどりの現状

多くのみどりが残る八王子



- みどり（樹林地や草地、農地など）に被われた土地の割合（緑被率）は61%です。
- 市民の定住意向では、八王子市に住み続けたい理由として、「緑が多く自然に恵まれている」をあげた市民が最も多くなっています。

樹林地率は減少しています



その他の課題

- 森林・農地の管理が十分に行き届かないことで荒廃しています。
- 公園が不足している地域があります。
- 生物多様性の観点から、貴重なみどりの保全を図る必要があります。

など

計画の目標

八王子の「みどり」が持つさまざまな機能を十分に理解し、中心市街地から山地に至る本市の地域特性を踏まえた「みどり」の保全と創出を進めていくことを目指します。

将来像 『自然とまちと人を結ぶ 『みどりの環境調和都市』』

指標	平成 21 (2009) 年度	平成 31 (2019) 年度
緑被率	61%	→ 現在の水準を確保
公園の充足率	81.2%	→ 90%

計画推進のための基本方針

- (1) みどりの持つ多面的な環境機能の保全
- (2) みどりを保全・活用したまちづくりの推進
- (3) 自然環境を保全する新たなしくみの構築
- (4) 市民・事業者・市の連携と協働の取り組み
- (5) 自然体験を通じた環境教育・環境学習の推進

◆みどりの配置の全体像

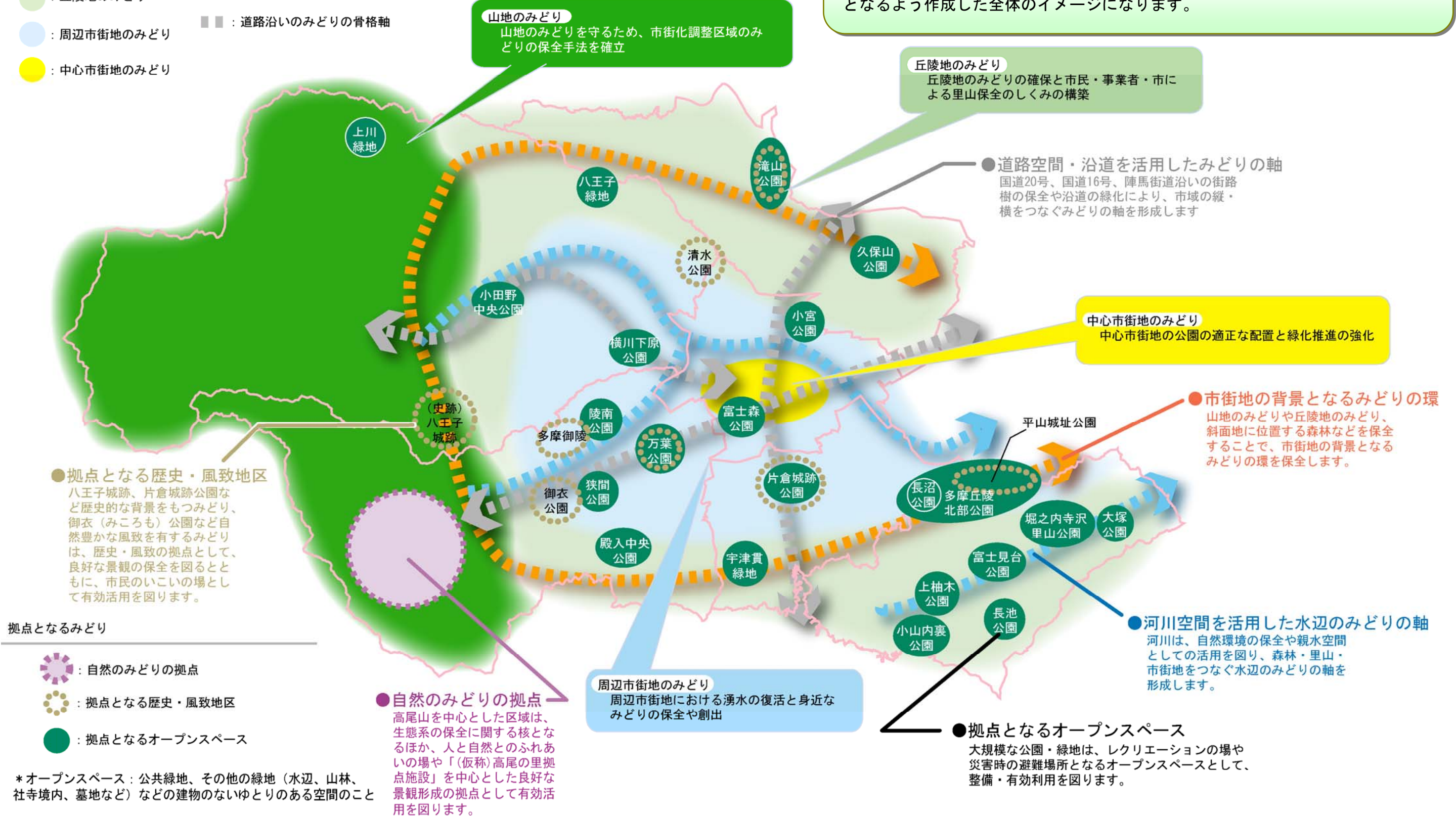
みどりの配置の全体像は、八王子市のみどりが目指すべき姿や、中心市街地、周辺市街地、丘陵地、山地の各区分の配置方針の特性を踏まえ、みどりのネットワークの結びつきを強化し、みどりの持つさまざまな機能のバランスがより良好となるよう作成した全体のイメージになります。

エリアの区分

- : 山地のみどり
- : 丘陵地のみどり
- : 周辺市街地のみどり
- : 中心市街地のみどり

みどりの骨格軸

- : 市街地の背景となるみどりの環
- : 水辺のみどりの骨格軸
- : 道路沿いのみどりの骨格軸



リーディング・プロジェクト

リーディング・プロジェクトとは、「みどりの環境調和都市」を実現し、これを将来の世代に継承していくために、優先的かつ重点的に取り組む必要がある施策です。

八王子駅南口周辺の緑化

- ◆八王子駅南口再開発における緑化を推進し、周辺の都市景観と調和した「みどりの空間」の創出



みどりのカーテンの普及

- ◆家庭・事業所への普及啓発
- ◆公共施設における実施



斜面緑地の保全

- ◆「市街地内丘陵地のみどりの保全に関する条例」に基づく斜面緑地保全区域指定の継続
- ◆保全優先度の高い緑地について特別緑地保全地区の指定を検討
- ◆土地所有者だけでなく新たな担い手と協働した斜面緑地を維持管理するしくみの構築

里山の保全

- ◆丘陵地の樹林地・田畑を一体として保全するという視点から、里山の多様な要素を包み込む保全区域を設定
- ◆保全優先度の高い緑地について特別緑地保全地区指定を検討
- ◆土地所有者だけでなくさまざまな担い手による新たな里山の利活用の展開

市街化調整区域のみどりの保全

- ◆量の確保
 - ・市街化調整区域のみどりの重要度の明確化
 - ・都市計画マスタープランとの整合
 - ・既設保全制度の活用・強化と新たな制度の検討
- ◆質の確保
 - ・新たな担い手の確保
 - ・維持管理など保全に関わる支援策の検討



堀之内里山保全地域

いきもの調査の実施

- ◆情報収集(文献調査・聞き取り調査・目撃情報等)
- ◆小中学校や環境市民会議等との連携によるいきもの調査
- ◆専門家による調査委員会などの設置
- ◆データベースの作成
- ◆情報マップ等の作成

自然体験を重視した環境教育・環境学習の推進

- ◆自然体験学習イベントの実施
- ◆自然体験を中心とした市民・事業者向け環境講座の実施
- ◆斜面緑地保全・里山保全事業の中での自然体験の実施
- ◆市民提案を踏まえたプログラムの導入

市民・事業者・市の取り組み

八王子市のみどりを「増やす」「育てる」「知る・学ぶ」、すべての場面で市民・事業者とともに取り組みを進めます。

◆みどりを増やす

生け垣は空気をきれいにし、道行く人たちの目にやすらぎを与えるだけでなく、地震、火災に強いなどの防災上の効果もあります。
事業所の敷地内の緑化は、周辺環境との調和を図る効果があります。

【取り組みの例】

- ・生け垣の設置
- ・事業所敷地内の緑化
- ・みどりのカーテンの設置
- ・雨水浸透施設の設置



◆みどりを育てる

公園や水辺、里山のみどりは、いきもの重要な生息・生育場所となるだけでなく、人と自然がふれあう機会を提供します。

【取り組みの例】

- ・市民農園の利用、地場産農作物の購入
- ・多摩産材、木質ペレットの利用
- ・林業体験への参加
- ・街路樹の管理への参加
- ・斜面緑地の保全活動への参加
- ・里山保全活動への参加



◆みどりを知る・学ぶ

八王子市のみどりをなぜ守らなくてはならないのか、その理解を深めるためには、みどりのことを知り、学ぶことも必要です。例えば収穫体験により、農業を学ぶこともそのひとつです。また、八王子浅川子どもの水辺の協議会では、子ども達の自然を大切にする心や行動力を育成するために、水辺のいきもの調査などの体験活動を行っています。

【取り組みの例】

- ・いきもの調査への参加
- ・自然教室への参加
- ・八王子出前講座の活用
- ・環境出前講座の企画と実施

